

第36回能代産業廃棄物処理センター環境対策協議会 議事録（要旨）

- 1 日時 令和2年7月28日（火） 13:30～14:40
- 2 場所 能代市浅内自治会館
- 3 出席者 浅内自治会（平川修会長、柴田和郎副会長）、小野沢自治会（渡辺正史会長、小沼孝文）、能代南土地改良区（保坂智）、浅内水利組合（平川悟副組合長）、能代の産廃を考える会（原田悦子事務局長）、能代市浅内財産区（山田文雄管理委員会会長、吉岡康隆能代市総務部長）、能代市（尾張政克環境産業部長）、秋田県（鎌田雅人生活環境部長：委員長）
- 4 議事
 - (1) 委員長の互選について
 - (2) 令和元年度水質等調査結果について
 - (3) 令和元年度環境保全対策の実施状況について
 - (4) 令和2年度環境保全対策について
 - (5) No. 2 処分場における廃油入りドラム缶の掘削工事について
 - (6) その他

○秋田県 鎌田生活環境部長 挨拶

- ・お忙しい中御出席いただき、また、日頃から能代産業廃棄物処理センターに係る環境保全対策の実施について、御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。
- ・No. 2 処分場に残存するドラム缶に関しては、今年6月10日から掘削作業に着手しており、当初予定していた範囲の約6割の掘削が終了し、これまで370本程のドラム缶を撤去している。引き続き、確認されたドラム缶は撤去していく考えで作業を進めていく。
- ・これまでの「No. 2 処分場における廃油入りドラム缶の掘削工事」の状況の報告のほかにも、毎年報告している「水質等調査結果」では、センター周辺の滲出水における1, 4-ジオキサンの状況等についても説明させていただいたので、皆様から忌憚のない御意見をよろしく願います。
- ・センターの環境保全対策については、引き続き、地元の皆様や能代市と情報を共有しながら、進めてまいりますので、今後も御理解と御協力を賜るようお願いいたします。

（議事（2）について事務局で説明後、質疑応答）

<質疑の概要>

- | | |
|----|--|
| 委員 | H17B-15-1の地下水が汚染されている原因は何か。 |
| 県 | 当該井戸は、設置当初から高い濃度でVOC等が検出されている。また、過去のドラム缶掘削撤去工事時には、一時的に濃度上昇が確認されており、処分場に不適正に埋め立てられた廃棄物による影響が考えられる。H17B-15-1含め遮水壁の内側については、引き続き、汚染地下水の汲み上げ処理を行い、浄化を進めていく必要があると考えている。 |
| 委員 | 先日場内を視察したが、大館沢は、遮水壁の効果か状況が改善されていたように感じた。南沢は、水質調査結果を見ると改善してきていると思う。蒲の沢は、少しずつ改善は見えるものの、まだまだ監視していかなければならないと感じている。
現場で残念だったのは、蒲の沢で、除草剤が使われていたことである。杉の実生が枯れており、環境改善のバロメーターだと思って見ていたものである。今後、 |

除草剤の使用は止めていただきたい。また、大館沢へと向かう仮設階段の一部が錆びており、落ちてしまった。監視するうえで必要なものなので、怪我のないよう安全管理をお願いしたい。

県 周辺3沢については、対策を始めた頃と比べると、かなり自然な状況へ戻ってきたと感じている。そうしたなかで、除草剤の件は、場内維持管理を委託する業者の判断により使用してしまったものであった。大変申し訳なく、今後はこういったことがないよう指導する。

場内整備についても、まずは必要な環境保全対策を講じたうえで、きちんと管理していきたいと考えており、お気づきのところがあれば、御指導いただきながら進めていきたい。

委員 1, 4-ジオキサンやベンゼン等は改善されてきているが、1, 4-ジオキサンが対策の途中から規制された物質であるように、現状規制されていない他の物質について何か調査は行っているか。

県 過去には、1, 4-ジオキサンが取り上げられた際、規制されていない物質について、場内調査を行ったこともあるが、1, 4-ジオキサンのように、全体に高濃度で検出されるようなものはないものと把握している。

委員 水質調査結果の数値を見れば、H12B-1では、1, 4-ジオキサンが0.83mg/Lと環境基準0.05mg/Lのかなりの倍数で検出されている。H17B-15-1でも0.98mg/L検出されており、ずいぶん高いと思う。やはり今後も調査についてはしっかりやっていただきたい。

県 遮水壁の内側については、御指摘のとおりまだまだと考えている。これまで約束してきているとおり、特措法終了後も引き続き、情報交換しながら環境保全対策を実施していきたい。

委員長 蒲の沢滲出水の1, 4-ジオキサン対策において、令和2年度までの計画目標達成が厳しい現状にあるため、揚水能力を強化するための追加対策を検討していることについては説明したとおりである。今後、この方向で追加対策の検討を進めていくことについて、本協議会において御了解いただいたということでよろしいか。

【異議なし】

委員長 御了解いただいたということで、今後、国との協議や、庁内調整を進めさせていただくのでよろしく願います。

(議事(3)、(4)、(5)について事務局で説明後、質疑応答)

<質疑の概要>

- 委員 | ドラム缶掘削撤去工事について、先日、環境保全対策部会の委員の先生方も、現場を見ていただいたということで、今後の対策に活かすうえでも、大変ありがたいことだと感じた。
| ドラム缶は県の当初予定が350本であったが、やはり出てきたという印象である。
| 内容物は過去の工事と比べると、液状物よりは固形物のほうが多いのかと思い、固形物については、原因者が過去に話していたものとも一致するように思えるが、この点についていかがか。
- 県 | 今となってはわからないことであり、この点についてコメントはできない。いずれ内容物については、分析結果を含め、工事後あらためて整理したうえで、御報告させていただきたい。
- 委員 | ドラム缶掘削工事による周辺地下水への影響については、今すぐに現れてくるものではないかと思うので、今後も調査を継続していただきたい。
- 県 | 現時点では大きな影響はないものと考えているが、引き続き調査を継続していく。
- 委員 | まだまだ環境保全対策を続けて行く必要がある状況のなか、産廃特措法の期限も迫っているため、特措法終了後も引き続き国からの支援を受けられるよう、事前に準備しておいて欲しい。住民側からの強い要望としてお願いしたい。
- 県 | 本環境保全対策は、特措法終了後も維持管理を要するものであり、継続していくことについては、約束しているとおりである。とはいえ、国からの支援がなければ、県の財政的にも厳しいことは明らかであり、国に対して支援の継続を要望しているところである。住民の思いをいただきながら声を届けていきたいと考えているため、よろしく願います。
- 委員 | 能代産業廃棄物処理センター付近に湧き水はあるか。
- 県 | 湧き水は把握していない。
| 周辺の沢水については御承知のとおり、実施計画に基づき対策を進めているところである。また、周辺集落井戸の水質調査も実施しており、現状問題はない。
- 委員 | 能代産業廃棄物処理センターの汚染物質は、周囲に絶対に流してもらいたくないのでよろしく願います。
- 県 | 場内の雨水以外のものについては、全量を回収し、浄化处理して能代市下水道へ放流している。
- 委員 | ドラム缶撤去工事について、コンクリート下にどのくらい埋設されているのか

が心配なところである。前回のように途中で中断するようなことがないようお願いする。

県 コンクリート部分は、周囲のボーリング調査でも確認されていないことから限られた範囲にあると考えている。その他の未着手部分の掘削との兼ね合いを見ながら、予算上厳しい状況があれば、庁内で検討し、できる限り御要望に沿うような形で進めていきたいと考えている。状況については逐次ご報告させていただく。

委員 場内の施設の老朽化がかなり見られるようだが。

県 水処理施設はこまめに点検修理を実施しているほか、揚水井戸も老朽化というより、土質による目詰まり等が起りやすく、機能回復のため洗浄を実施している。現状問題はないが、今後も長く維持管理を続けて行くうえで、いずれ大規模修繕は必要になると考えている。

委員 階段が錆びて老朽化していたようだが。

県 確かに一部階段が錆びている場所がある。予算は限られているため、まずは環境保全対策をしっかりと行ったうえで、監視に必要な付帯施設についても調整しながら整備していきたいと考えている。

委員 遮水壁の深さはどれくらいあるのか。

県 高低差は多少あるが、およそ15m～20mの深さにある、水を通しにくい層へ入り込む形になっている。

委員 そのさらに下の層は、心配ないのか。

県 第2帯水層へも汚染が拡散していることがわかっており、汲み上げ浄化処理を実施しているところである。今後も水質については御報告しながら、対策を続けていく。

委員 No. 2 処分場南側の斜面から確認されたコンクリート盤は、一般的ながれき類と同じような廃棄物なのか。それとも何か別の意味があるものなのか。

県 処分場なので、がれき類が確認されることはあるが、当該コンクリートについては一定の層で平らにきれいに成形されているため、そういったものではないと考えている。ただ、何のためにやったかということについてはわからない。

委員 その下によほど見つけてほしくないものがあるのではないかと勘ぐってしまう。

県 いずれ理由はわからない。

- 委員 コンクリート盤の下のドラム缶については、注意深く作業を進めていただきたい。
- 県 慎重に進めていく。
- 委員 先日の視察の際、他の業者から、能代産業廃棄物処理センターにおける処分場の許可に関する問い合わせがあるという話を聞いたが、どのような現状なのか。
- 県 年に何回か問い合わせがある。許可はすべて取り消しており、県のホームページに掲載しているとおり、今後許可を出すことはない旨回答している。
- 委員 周りには、水に関連する作業をする者も多いため、新たにそのようなことになると大変である。十分注意していただきたい。
- (以上、質問等なし)
- 委員長 以上で第36回能代産業廃棄物処理センター環境対策協議会を終了する。